

良好な景観の形成に関する方針	項目	配慮事項	チェック欄	配慮した内容
様々な建築物の規模・用途の調和	位置・配置	壁面位置や軒高の揃っている所では、連続性の維持に配慮すること。		
		高層建築物の場合は周辺の街並みとの関係性に配慮し、足元に中低層棟を配置するなど街並みの連続性やまとまりの維持に努めること。		
		立体駐車場を設置する場合は、道路から見えにくい位置に配置したり、建築物と統一的な意匠の採用や前面に植栽を配置するなど配慮すること。		
地域性や歴史性に配慮した景観の形成	形態・意匠	商業機能と居住機能が併存する地域に計画敷地が存する場合は、建築物の色彩や屋外広告物の掲出位置・方法に十分配慮すること。		
	外構	隣接する敷地の緑地や空地の配置、植栽や外構との連続性に配慮すること。		
	位置・配置	三田駅周辺地区やシビックゾーン地区では、道路等の公共空間と一体となった空地を敷地内に配置したり、敷地境界からセットバックするなどゆとりある街並みの形成に配慮すること。		
地景(地形がつくる景観)の保全	形態・意匠	建築物の高さや階高等が揃っている所では、連続性の維持に配慮すること。 建築物の敷地が、旧街道沿い（計画書 P. 12）に位置する場合は、歴史的な街並みに配慮した形態・意匠としたり、敷地際の外構の形状の連続性に配慮すること。		
	色彩	建築物に使用する色彩は、周辺の街並みと調和する落ち着いた色彩とすると共に、特に高層部では低彩度とするよう努めること。		
	外構	街路に面する部分の外構の構造や意匠が揃っている所では、その連続性に配慮すること。		
	緑化	敷地内には、低・中・高木を適切に配置し、歩行者が緑豊かな街並みを感じられるように配慮すること。緑が不足する路線（計画書 P. 11）や景観重要道路の沿道敷地では特に努めること。		
	位置・配置・規模	地形は、その土地の景観を特徴づける骨格的な景観要素であるため、地形の改変を最小限に抑えるよう配慮すること。 高層建築物の場合は、高層階を後退させるなど、背景の山並みへの歩行者の視線を遮らないよう配慮すること。 計画図に示す地点 A 及び地点 B から見た山並み A への眺望を阻害しない配置・規模とし、やむを得ず視界を遮る場合は、長大な立面を避け、分棟としたり、タワー型とするなど背景の山並みへ配慮すること。		
樹林地	既存の樹林地を可能なかぎり保全し、止むを得ず失われる場合は、従来の植生など地域の自然的特性を考慮した緑地の回復に配慮すること。			

良好な景観の形成に関する方針	項目	配慮事項	チェック欄	配慮した内容
様々な建築物の規模・用途の緩和	位置・配置	立体駐車場を設置する場合は、道路から見えにくい位置に配置したり、前面に植栽を配置するなど無機質とならないよう配慮すること。		
		敷地境界に接する部分に植栽するなど配慮すること。		
地域性や歴史性に配慮した景観の形成	位置・配置	敷地境界からのセットバックなど近隣に圧迫感を与えないよう配慮すること。		
	意匠・形態	周囲に与える突出感、違和感を軽減するよう配慮すること。 特に、工作物の敷地が、旧街道沿い（計画書 P. 12）に位置する場合は、歴史的な街並みに配慮した形態・色彩とすること。		
		金属やガラスなどの光沢性のある素材を用いる場合は、周辺景観との調和に配慮すること。		
	色彩	工作物に使用する色彩は、周辺の街並みと調和する落ち着いた色彩とすると共に、特に高層部では低彩度とするよう努めること。		
	外構	街路に面する部分の外構の構造や意匠が揃っている所では、その連続性に配慮すること。		
地景(地形がつくる景観)の保全	位置・配置	地形は、その土地の景観を特徴づける骨格的な景観要素であるため、地形の改変を最小限に抑えるよう配慮すること。		
	高さ・規模	計画図に示す地点 A 及び地点 B から見た山並み A への眺望を阻害しない配置・規模となるよう配慮すること。		
	樹林地	既存の樹林地を可能なかぎり保全し、止むを得ず失われる場合は、従来の植生など地域の自然的特性を考慮した緑地の回復に配慮すること。		

良好な景観の形成に関する方針	項目	配慮事項	チェック欄	配慮した内容
地景(地形がつくる景観)の保全	配置	地形は、土地の景観を特徴づける骨格的な景観要素であるため、地形の改変を最小限に抑え、地形的特性を活かした空間形成となるよう配慮すること。		
		大断面の擁壁が発生しないよう工夫し、やむを得ず発生する場合は、単調な擁壁を避けるなど配慮すること。		
	樹林地	既存の樹林地を可能なかぎり保全し、止むを得ず失われる場合は、従来の植生など地域の自然的特性を考慮した緑地の回復に配慮すること。		